

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341111	キッズイングリッシュ I (2026)	ニック モープレイ・奥村 優子・小倉 弘之			1	選択	2前期

科目の概要

本科目は、ニュージーランドにおける英語研修・保育実習に参加する学生を対象に、英語運用力と子どもへの英語指導力を統合的に育成することを目的とする(DP2・3・7)。CEFR A1上位～A2入レベルを出発点とし、年間を通してCEFR A2レベルの安定した英語運用力の習得を目指す。

※CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) は、Council of Europeが策定した言語能力の国際的指標であり、A1 (基礎) からC2 (熟達) までの6段階で言語運用能力を示す。

授業では、2種類の教材を用い、コミュニケーション教材により日常会話に必要な語彙・文法・会話表現を学習するとともに、キッズ向け英語教材を活用して、子ども向け英語表現や教室英語、アクティビティ運営方法を実践的に学ぶ。

各回の授業では、「学ぶ」活動と「教える」活動を統合し、海外研修や保育実習で活用できる実践的な英語力と指導力を養成する。実践を通して、子どもに英語を楽しく伝え、グローバルなコミュニケーションへの前向きな姿勢を育むことができる指導者としての基礎を身につけることを目標とする。

学修内容	到達目標
① 日常会話に必要な基本語彙・文法の習得 ② 自己紹介・学校紹介・ニュージーランド滞在時の基本会話 ③ 意見交換・簡単なディスカッション ④ 発音・リズム・イントネーションの基礎訓練 ⑤ 教室英語 (指示・褒め言葉・クラス運営表現) ⑥ 子ども向け英語アクティビティ (歌・ゲーム・絵本活用) ⑦ 保育実習先でのコミュニケーション ⑧ 異文化理解とニュージーランド教育の基礎知識 ⑨ 保育実習先でのコミュニケーション ⑩ 保育実習での児童向けに日本文化の紹介・ロールプレイ	① 基本的な文法・語彙を用いて、簡単な自己表現や意思疎通ができる ② 名前・出身・日常生活・学校生活などを簡潔に伝え、質問に答えられる ③ “I think…” “Because…” を用いて、自分の意見や理由を簡単に伝えられる ④ 聞き取りやすく理解しやすい発音で話し、基本的な会話がスムーズにできる ⑤ 子どもに指示や褒める表現を適切に使い、クラス活動を円滑に運営できる ⑥ 歌・チャンツ・ゲーム・絵本を用いて、子どもを引き込む活動を英語で実践できる ⑦ 簡単な会話や挨拶、質問への応答などを実習先のスタッフや子どもと円滑に行える ⑧ 実習先の文化・教育習慣を理解し、柔軟に対応できる ⑨ 指示・相談・報告など、実習現場に必要な日常会話や業務対応ができる ⑩ 日本文化を子ども向けに英語で紹介し、アクティビティを行える

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分から積極的に会話に参加し、学習・実習活動に主体的に取り組む能力を養う (例：自己紹介やアクティビティ運営)
	働きかけ力	子どもに対して、適切な指示・声かけ・コミュニケーションを積極的に行える力
	実行力	学んだ英語表現・アクティビティ運営を計画通りに実践できる力
考え抜く力	課題発見力	実習やグループワークで子どもの理解度や反応を観察し、改善すべき課題を見つける力
	計画力	レッスンプランやアクティビティの構成・進行を事前に計画し、実践できる力
	創造力	活動や教材の工夫、子ども向けの説明方法を柔軟に考え、創意工夫できる力
チームで働く力	発信力	グループワークで、自分の意見や提案をわかりやすく発信できる力
	傾聴力	他者 (教員・学生・子ども) の意見や反応を正しく聞き取り、理解する力
	柔軟性	活動中の想定外の状況や子どもの反応に応じて、計画や指示を柔軟に変更できる力
	情況把握力	活動の進行状況を把握し、必要な対応を適切に判断できる力
	規律性	実習先のルールやスケジュールを守り、責任をもって活動に参加できる力
	ストレスコントロール力	緊張やトラブル、想定外の状況でも落ち着いて行動できる力

テキスト及び参考文献

テキスト
 Oxford University Press. Smart Choice Series.
 Oxford University Press. Everybody Up Series.
 Oxford University Press. Oxford Reading Tree Series.

他科目との関連、資格との関連

キッズイングリッシュ I は、キッズイングリッシュ II の基礎となる

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ●授業はニュージーランド人のネイティブ教員が英語で行います。間違いを気にせず、積極的に発言・参加して楽しみましょう。 ●教材は事前に予習し、語彙や表現を確認しておくこと、自信をもって授業に臨めます。 ●ニュージーランド研修・保育実習に向け、異文化理解と多様性 (他文化・多言語) への理解を深めましょう。 ●英語力向上には量が重要です。日常的に英語に触れる機会を増やしましょう。 	オンライン授業の注意 カメラ・マイクは原則オンで参加 (通信状況により例外あり) 名前表示は英名にする ネットワーク切断や技術トラブルがあった場合は、事前または事後に教員に連絡 授業参加・欠席・遅刻について 授業に参加していないと判断した場合は欠席扱い 遅刻: 20分以上は欠席扱い、3回の遅刻で1回の欠席扱い 遅刻した場合は理由をチャットメッセージに書いてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	45	①	✓	⑥	学期末に理解度と実践力の総合評価を行います。 口頭試験／面接：自己紹介、学校紹介、簡単なディスカッション 筆記またはワークシート：基本語彙・文法・表現の理解	
			②	✓	⑦		
			③	✓	⑧		
			④		⑨		
			⑤		⑩		
	平常評価	小テスト	0	①		⑥	
				②		⑦	
				③		⑧	
				④		⑨	
				⑤		⑩	
レポート		0	①		⑥		
			②		⑦		
			③		⑧		
			④		⑨		
			⑤		⑩		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	45	①	✓	⑥	授業やオンラインでの日々の参加・発言・活動への取り組みを評価します。 授業参加・発言：積極的に発言・質問・発表を行ったか アクティビティ実践力：模擬授業やロールプレイで子ども向け英語表現・指導が実践できたか 準備・予習・復習：教材の予習や振り返り、自己評価の活用状況 協働・態度：グループワークでの協力や柔軟性、授業ルールの遵守		
		②	✓	⑦			
		③	✓	⑧			
		④	✓	⑨			
		⑤		⑩			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	（主体性）準備を怠らず、必要な情報を自ら収集できる （実行力）目標達成のため努力できる （課題発見力）自己と集団の課題を発見できる （創造力）発表の仕方を工夫できる （発信力）相応しい方法で意見を伝えられる （傾聴力）講義や発表を聞き自分の考えを持つことができる。 （規律性）自己と集団の学びに資するためにルールを守ることができる。	
			②	✓	⑦		
			③	✓	⑧		
			④	✓	⑨		
			⑤		⑩		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（優）授業準備を怠らず、欠席せずルールを守り授業に積極的に参加し、レポート、成果発表合計で90%以上の得点ができる A（秀）授業準備を怠らず、欠席せずルールを守り授業に積極的に参加し、レポート、成果発表合計で80%以上の得点ができる	B（良）授業にルールを守り積極的に参加し、レポート、成果発表合計で70%以上得点できる C（可）授業にルールを守り積極的に参加し、レポート、成果発表合計で60%以上得点できる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション (授業の進め方・テキストの使い方など) ・自己紹介・挨拶 ・名前・年齢・出身の 簡単質問 ・Hello song, Greetings活動	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 自己紹介(名前・出身・専攻・将来目標)を英語で3~5文準備する。基本的な挨拶表現を確認し、音読する。 (復習) ・自己紹介文をより自然な表現に書き直す。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	・日常生活表現(現在形) ・“What do you usually do?” ・日常行動指示TPR	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 現在形の文を5文作る。日常生活の動作について答えを準備する。 (復習) ・日課を5~8文でまとめ、TPR指示表現を声に出して練習する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	・数字・時間 ・数・曜日・時間ゲーム ・Countingチャンツ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 数字1~100、曜日、時間表現を言えるようにする。 (復習) ・時間表現を用いた英文を作成。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	・家族・人物紹介 ・家族を紹介する簡単質問 ・Family flashcards	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 家族紹介文を3~5文準備し、He/Sheの使い分けを確認する。 (復習) ・家族紹介を簡単な文章にまとめる。フラッシュカード活動を振り返る。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	・趣味・好き嫌い ・“Do you like ~?” ・好きなものカードゲーム	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) “Do you like ~?”の質問文を5つ作る。自分の趣味や好みを整理する。 (復習) ・Like / Don't likeを用いた例文を作る。カードゲームの内容を振り返る。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	・過去形(規則動詞) ・“What did you do yesterday?” ・過去のアクティビティ紹介	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 規則動詞の過去形を確認し、昨日の出来事を5文で準備する。 (復習) ・過去形で日記形式の文章を作成する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	・過去形(不規則動詞) ・Storytelling game ・絵本を使った簡単読み聞かせ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) よく使う不規則動詞を確認する。 (復習) ・簡単なストーリーを過去形で作成し、絵本読み聞かせを音読する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	・現在進行形 ・“What are you doing now?” ・動作TPR & Show me!	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 現在進行形の文を5文準備する。 (復習) ・動作を説明する文を5文作る。TPRを用いて練習する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<ul style="list-style-type: none"> ・未来表現 (be going to) ・“What are you going to do tomorrow?” ・明日の計画をゲームで表現 	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている 	(予習) be going to の文を確認し、明日の予定を英語で準備する。 (復習) ・未来表現を用いた短いスピーチを作成する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞 (人・物の描写) ・“Describe your friend/animal” ・色・形・動物カード活動 	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている 	(予習) 人・物を表す形容詞を10語覚える。 (復習) ・友達や動物の描写文を5文作る。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	<ul style="list-style-type: none"> ・位置・場所表現 ・“Where is it?” ・教室内の物の位置ゲーム 	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている 	(予習) in/on/under/next to の使い方を確認する。 (復習) ・教室内の物の位置を説明する英文を作成する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	<ul style="list-style-type: none"> ・命令形・指示表現 ・“Stand up, sit down, raise your hand” ・TPR指示練習 	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている 	(予習) 基本的な指示表現を確認する。 (復習) ・TPR指示表現10個を声に出して練習する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	<ul style="list-style-type: none"> ・頻度副詞・日課 ・“How often do you ~?” ・日課を質問&指示するゲーム 	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている 	(予習) always / usually / sometimes を使った文を作る。 (復習) ・頻度副詞を用いた日課文を5文作成する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級・最上級 ・“Which is bigger/smaller?” ・物や動物の比較アクティビティ 	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている 	(予習) bigger / smaller / the biggest などの表現を確認する。 (復習) ・比較文を5文作る。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物表現 ・“How much is it?” ・Shop role-play 	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている 	(予習) 会話例を読み、Role-playの台本を準備する。 (復習) ・Role-play 台本を振り返り、改善点を整理する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341112	キッズイングリッシュⅡ (2026)	ニック・モーブレイ・奥村 優子・小倉 弘之			1	選択	2後期

科目の概要

本科目は、ニュージーランドにおける英語研修・保育実習に参加する学生を対象に、英語運用力と子どもへの英語指導力を統合的に育成することを目的とする(DP2・3・7)。CEFR A1上位～A2入レベルを出発点とし、年間を通してCEFR A2レベルの安定した英語運用力の習得を目指す。

※CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) は、Council of Europeが策定した言語能力の国際的指標であり、A1 (基礎) からC2 (熟達) までの6段階で言語運用能力を示す。

授業では、2種類の教材を用い、コミュニケーション教材により日常会話に必要な語彙・文法・会話表現を学習するとともに、キッズ向け英語教材を活用して、子ども向け英語表現や教室英語、アクティビティ運営方法を実践的に学ぶ。

各回の授業では、「学ぶ」活動と「教える」活動を統合し、海外研修や保育実習で活用できる実践的な英語力と指導力を養成する。実践を通して、子どもに英語を楽しく伝え、グローバルなコミュニケーションへの前向きな姿勢を育むことができる指導者としての基礎を身につけることを目標とする。

学修内容	到達目標
① 日常会話に必要な基本語彙・文法の習得 ② 自己紹介・学校紹介・ニュージーランド滞在時の基本会話 ③ 意見交換・簡単なディスカッション ④ 発音・リズム・イントネーションの基礎訓練 ⑤ 教室英語 (指示・褒め言葉・クラス運営表現) ⑥ 子ども向け英語アクティビティ (歌・ゲーム・絵本活用) ⑦ 保育実習先でのコミュニケーション ⑧ 異文化理解とニュージーランド教育の基礎知識 ⑨ 保育実習先でのコミュニケーション ⑩ 保育実習での児童向けに日本文化の紹介・ロールプレイ	① 基本的な文法・語彙を用いて、簡単な自己表現や意思疎通ができる ② 名前・出身・日常生活・学校生活などを簡潔に伝え、質問に答えられる ③ “I think…” “Because…” を用いて、自分の意見や理由を簡単に伝えられる ④ 聞き取りやすく理解しやすい発音で話し、基本的な会話がスムーズにできる ⑤ 子どもに指示や褒める表現を適切に使い、クラス活動を円滑に運営できる ⑥ 歌・チャンツ・ゲーム・絵本を用いて、子どもを引き込む活動を英語で実践できる ⑦ 簡単な会話や挨拶、質問への応答などを実習先のスタッフや子どもと円滑に行える ⑧ 実習先の文化・教育習慣を理解し、柔軟に対応できる ⑨ 指示・相談・報告など、実習現場に必要な日常会話や業務対応ができる ⑩ 日本文化を子ども向けに英語で紹介し、アクティビティを行える

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分から積極的に会話に参加し、学習・実習活動に主体的に取り組む能力を養う (例：自己紹介やアクティビティ運営)
	働きかけ力	子どもに対して、適切な指示・声かけ・コミュニケーションを積極的に行える力
	実行力	学んだ英語表現・アクティビティ運営を計画通りに実践できる力
考え抜く力	課題発見力	実習やグループワークで子どもの理解度や反応を観察し、改善すべき課題を見つける力
	計画力	レッスンプランやアクティビティの構成・進行を事前に計画し、実践できる力
	創造力	活動や教材の工夫、子ども向けの説明方法を柔軟に考え、創意工夫できる力
チームで働く力	発信力	グループワークで、自分の意見や提案をわかりやすく発信できる力
	傾聴力	他者 (教員・学生・子ども) の意見や反応を正しく聞き取り、理解する力
	柔軟性	活動中の想定外の状況や子どもの反応に応じて、計画や指示を柔軟に変更できる力
	情況把握力	活動の進行状況を把握し、必要な対応を適切に判断できる力
	規律性	実習先のルールやスケジュールを守り、責任をもって活動に参加できる力
	ストレスコントロール力	緊張やトラブル、想定外の状況でも落ち着いて行動できる力

テキスト及び参考文献

テキスト
 Oxford University Press. Smart Choice Series.
 Oxford University Press. Everybody Up Series.
 Oxford University Press. Oxford Reading Tree Series.

他科目との関連、資格との関連

キッズイングリッシュⅠは、キッズイングリッシュⅡの基礎となる

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ●授業はニュージーランド人のネイティブ教員が英語で行います。間違いを気にせず、積極的に発言・参加して楽しみましょう。 ●教材は事前に予習し、語彙や表現を確認しておくこと、自信をもって授業に臨みます。 ●ニュージーランド研修・保育実習に向け、異文化理解と多様性 (他文化・多言語) への理解を深めましょう。 ●英語力向上には量が重要です。日常的に英語に触れる機会を増やしましょう。 	オンライン授業の注意 カメラ・マイクは原則オンで参加 (通信状況により例外あり) 名前表示は英名にする ネットワーク切断や技術トラブルがあった場合は、事前または事後に教員に連絡 授業参加・欠席・遅刻について 授業に参加していないと判断した場合は欠席扱い 遅刻：20分以上は欠席扱い、3回の遅刻で1回の欠席扱い 遅刻した場合は理由をチャットメッセージに書いてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	45	①	✓	⑥	学期末に理解度と実践力の総合評価を行います。 実技評価：日本の文化紹介 筆記またはワークシート：基本語彙・文法・表現の理解	
			②	✓	⑦		
			③	✓	⑧		
			④		⑨		
			⑤		⑩		
	平常評価	小テスト	0	①		⑥	
				②		⑦	
				③		⑧	
				④		⑨	
				⑤		⑩	
レポート		0	①		⑥		
			②		⑦		
			③		⑧		
			④		⑨		
			⑤		⑩		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	45	①	✓	⑥	授業やオンラインでの日々の参加・発言・活動への取り組みを評価します。 授業参加・発言：積極的に発言・質問・発表を行ったか アクティビティ実践力：模擬授業やロールプレイで子ども向け英語表現・指導が実践できたか 準備・予習・復習：教材の予習や振り返り、自己評価の活用状況 協働・態度：グループワークでの協力や柔軟性、授業ルールの遵守		
		②	✓	⑦			
		③	✓	⑧			
		④	✓	⑨			
		⑤		⑩			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	（主体性）準備を怠らず、必要な情報を自ら収集できる （実行力）目標達成のため努力できる （課題発見力）自己と集団の課題を発見できる （創造力）発表の仕方を工夫できる （発信力）相応しい方法で意見を伝えられる （傾聴力）講義や発表を聞き自分の考えを持つことができる。 （規律性）自己と集団の学びに資するためにルールを守ることができる。	
			②	✓	⑦		
			③	✓	⑧		
			④	✓	⑨		
			⑤		⑩		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（優）授業準備を怠らず、欠席せずルールを守り授業に積極的に参加し、レポート、成果発表合計で90%以上の得点ができる A（秀）授業準備を怠らず、欠席せずルールを守り授業に積極的に参加し、レポート、成果発表合計で80%以上の得点ができる	B（良）授業にルールを守り積極的に参加し、レポート、成果発表合計で70%以上得点できる C（可）授業にルールを守り積極的に参加し、レポート、成果発表合計で60%以上得点できる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション (授業の進め方・テキストの使い方など) ・体調・健康表現 ・“I have a headache” ・医者ごっこTPR	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 体調表現を確認する。 (復習) ・医者役・子ども役の会話文を作成し、音読する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	・感情表現 ・“I am happy/sad” ・Emotion game / Feelings flashcards	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 感情表現の語彙を確認する。 (復習) ・感情を使った短い文章を3~5文作る。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	・意見表現 ・“I think…” ・簡単なディスカッション・カードゲーム	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) I think / I agree を使った文を3~5文作る。 (復習) ・授業で述べた意見を整理し、文章化する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	・理由表現 ・“Because…” ・簡単ストーリー作り	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) because を使った文を5文作る。 (復習) ・理由表現を用いた短い文章やストーリーを作成する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	・質問力強化 ・“What do you think?” / “Why?” ・質問で子どもに答えさせる	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) Why / What do you think? の質問文を作る。 (復習) ・質問を使った会話文を作成する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	・趣味・アクティビティ表現 ・“Let’s play ~ / Let’s sing ~” ・歌・チャンツ練習	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) Let’s ~ の文を5文作る。 (復習) ・歌・チャンツを暗唱し、指導できるように練習する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	・食べ物・飲み物 ・“Do you like ~?” / “Yummy!” ・食べ物カード活動	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 食べ物・飲み物語彙を確認する。 (復習) ・好き嫌いを用いた会話文を作る。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	・天気・季節表現 ・“It’s sunny/rainy” ・Weather TPR & Song	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 天気表現を確認する。 (復習) ・天気を使った短い会話文を作成する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・場面表現(学校・遊び場) ・“Let’s clean up / Sit down” ・Classroom English 練習	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) Classroom English を確認する。 (復習) ・実際の指示文を10個作り、練習する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	・簡単ストーリーテリング ・“First…Then…” ・絵本読み聞かせ / Puppet show	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) First / Then / Finally を用いた短い文章を作る。 (復習) ・簡単なストーリーを作成し、読み聞かせて練習する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	・アクティビティ指示 ・“Draw / Color / Jump” ・Craft・TPR活動	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 動作指示動詞を確認する。 (復習) ・クラフト指示を英文で作成し、発話練習する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	・褒める表現 ・“Good job! / Well done!” ・Praise & Motivation Game	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) 褒め言葉を10個覚える。 (復習) ・授業で使える励まし表現を作り、実践練習する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	・まとめ表現 ・“Let’s review / Show me…” ・総合ゲーム・復習アクティビティ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	(予習) これまでの重要表現を確認する。 (復習) ・総復習ノートを作り、重要表現を声に出して練習する。 ・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	・日本文化紹介 ・実習先で使うマオリ語 ・子供に向けての絵本読み上げ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	・日本文化紹介 ・実習先で使うマオリ語 ・子供に向けての絵本読み上げ	講義、演習、ペアまたはグループワーク、ICT活用	・文法・語彙に複数の誤りがあるが、短い会話はできる ・アクティビティに関して簡単な指示が出せる ・発言・協働が多少なりともできている	・音読 ・スピーキング振り返り ・語彙定着	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力